

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 30年10月31日

事業所名 富山市恵光学園(児童発達支援センター)

保護者等数(児童数) 43人

回収数割合 93%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	① 子どもの活動スペースが十分に確保されているか	35	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きに動けていると思う。</li> <li>・教室やプレイルームなどいろいろある。</li> <li>・放デイの建設により、園庭の使用ができない日が制限されてしまっ、とても不満。</li> <li>・合同で遊ぶと少し狭く感じる。クラスであれば確保できていると思う。</li> <li>・教室は子どもたちが集中できる適度な大きさだと思う。園庭は広く、親として嬉しい。</li> <li>・スキー山などがなくなって、かわいそう。</li> <li>・プレイルームは広く、遊具も満足。</li> <li>・各教室がもう少し広げれば良い。</li> <li>・プレイルームが広く、思いきり遊べていると思う。</li> </ul>	指導室における、子ども 1人あたりの床面積は、2.47平米が目安と規定されており、現在はそれが確保が出来ている状態です。活動の内容に沿って、今あるスペースの工夫を考えたいと思います。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	36	3		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても手厚く見てもらっている。</li> <li>・常勤で言語聴覚士がいると尚良い。</li> <li>・子ども 3人につき 1人先生がついていて見守られている。</li> <li>・子どもの個々に合った対応がなされている。</li> <li>・専門性は各職員、どのレベルかわからない(こちらから見ている限り)</li> <li>・私は満足している。</li> <li>・経験年数、どのような資格を持っている先生かわからない。</li> <li>・子ども 3人に対し、先生が 1人というのは手厚い。先生方も研修会に参加され専門的なことを学ばれている。</li> <li>・保育士 1人目の方もいるが、勉強は頑張っていると思う。</li> </ul>	職員配置は、子ども4人に対し職員1人という定められた最低基準を満たしています。専門性については、各種研修を通して学びを深め、適切な療育に努めております。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	40					<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの活動するところはシンプルになっていてわかりやすいと思う。</li> <li>・車椅子でも不自由なく過ごせる空間作りがされている。わかりやすい構造のため、子どもも慣れている。</li> <li>・写真や絵カード等でわかりやすくされている。</li> <li>・玄関にはスロープもあり、室内もほとんど段差がないため、踏きにくく大変良い。一人ひとりのマークがあり、机・椅子・タオルをかける場所などわかりやすく示してある。</li> <li>・目で見てわかるようどこでも絵カードで説明されている。机や椅子にもマークが書いてあるのでわかりやすい。</li> <li>・娘は生き生きと学園で生活しているように思う。</li> </ul>	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	35	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔だと思う。</li> <li>・毎日きれいに清掃されている。</li> <li>・子どもたちが帰った後に毎日掃除をしている。ボールや人形などもアルコールで拭いたりして清潔である。</li> <li>・夏場のプレイルームは寒い。逆に冬は乾燥している。</li> <li>・子どもの使うトイレや椅子などの老朽化が少し気になる。</li> <li>・教室、プレイルームともに丁度良い広さ。</li> </ul>	29年度は、小プレイルームとうさぎ組の床を修繕しました。30年度は他クラスの床も修繕対象となっておりますので、着工が決まり次第皆様にお伝えしてまいります。	
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	39			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話を聞いてくれて、それが反映されていると思う。</li> <li>・日々の生活の様子をしっかり把握しており、納得のいく計画がいつも作成されている。</li> <li>・本人が困っていること、保護者が困っていることを聞き、作成してくれている。</li> <li>・保護者の話をしっかりと聞き、子どもの姿と合わせて計画を立てていると思う。</li> </ul>		
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	36	1		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインの内容がしっかりと把握できていないため、判断しにくい。</li> <li>・子どもたちの気持ちを理解して、一人ひとりに合った支援の仕方をしている。また、主治医や協力機関と連携を図りながら安全な支援環境の向上に努めてくれている。</li> <li>・子どもの姿や親の気持ちをしっかりとらまえて設定されているように感じる。</li> </ul>	ガイドラインは職員間で読み合わせをし、共通理解を図っております。	
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	40				<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画のための支援が日々の生活に組み込まれている。</li> <li>・計画に沿った支援を行っている。</li> </ul>		
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	34	3		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任との個別の時間(1対1)がもっとあると尚良い。</li> <li>・行事の練習もつつ、いつもの遊びもしてくれている。</li> <li>・毎日いろいろな活動をしており、充実していると感じる。</li> <li>・一人ひとりに合わせた課題に取り組んでおり、プリントなど、やった課題を持ち帰ってくる。</li> <li>・クッキングや公園へ行ったり、楽しい活動をしている。</li> <li>・説明がないので、実行されているのかわからない。</li> <li>・一歩ずつしっかりと歩めるよう工夫されていると思う。</li> <li>・活動プログラムが事前に分かると嬉しい。</li> </ul>	同じ活動の中でも、それぞれのねらいが達成できるよう、個々への関わりも大切にしています。ガイドラインのPDCAサイクルに則り毎月評価シートを作成し、提供する活動・支援内容を見直しております。活動内容の事前のお知らせにつきましては今後の検討事項とさせていただきます。	
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	36	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣の保育園と交流している。</li> <li>・隣の障害のないこども園と定期的に交流している。</li> <li>・定期的に桜谷保育園へ行ったり、来てもらったりしている。</li> <li>・桜谷小学校の生徒さんも来てくれる。</li> <li>・交流保育もとても楽しみにしている。</li> <li>・交流はあったが、回数は少ないと思う。</li> <li>・桜谷保育園の友だちといろいろな形で交流でき、感謝している。</li> <li>・保育園のどの組の子どもと交流したか教えてほしい。</li> </ul>	以前に比べると隣の保育園との交流は減っています。お互いの園行事の都合や、感染性の病気が流行ると交流を中止し、衛生管理にも十分配慮しています。保育園から逆交流でクラスの子どもたちが来園して交流しています。	
⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	39			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園説明会で聞いた。</li> <li>・入園してから親の会の会費などの負担金が大きすぎて困った。年間 12,000円は多すぎではないか。</li> <li>・いつも保護者に対して園から十分な説明がある。</li> <li>・園長先生が毎年必ず、お礼の挨拶をし、わからない所や</li> </ul>	入園説明会時に、冊子を配るとともに、説明を行っています。		



満足度	⑳ 子どもは通所を楽しみしているか	37	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もちづつ具を見ると「楽しい」かわかる。</li> <li>・言葉を話さないし、泣きながら通所するときもあれば、ここにこして行くこともある。</li> <li>・朝、着替えるのもバスに乗るのも嫌がる。</li> <li>・恵光学園大好きで毎日笑顔で登園している。</li> <li>・毎日楽しそうに園へ行く。今日は何をしたか教えてくれる。</li> <li>・毎日玄関に入ると、自らクラスに入って行く。</li> <li>・通所前は嫌がるが、朝バスにはスムーズに乗れることが増えた。通園を嫌がっていない。</li> </ul>	子どもにとって学園が安心できる場所であるように、毎日療育に努めております。嫌がることや泣いて訴えることも成長の1つと捉え、長い目で見守って頂けると幸いです。
	㉑ 事業所の支援に満足しているか	38	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生により支援が変わったりするので、その都度満足度も変わる。</li> <li>・とても満足している。高等部まで作ってほしいくらい。</li> <li>・できることが増えていることには満足している。療育中や帰りのプレイルームの様子を見ると、先生同士のおしゃべりが目立つ。子どもと関わっている様子は見られない。</li> <li>・子どもはもちろん、家族の心のケアしてもらい感謝している。</li> <li>・たくさんこちらの話を聞いてもらい、それを受け入れてもらえ感謝している。</li> </ul>	「どちらともいえない」という回答を今後の課題とし、より満足していただける支援を目指していきたいと思っております。	